

平泉町社会教育施設整備事業  
選考結果及び審査講評

平泉町

令和元年 11 月

## 目次

1. 選定委員会.....	1
1.1. 選定委員会設置目的.....	1
1.2. 審査体制.....	1
2. 審査方法.....	1
2.1. 審査方法.....	1
2.2. 審査フロー.....	2
2.3. 募集の経緯.....	3
2.4. 選定委員会の開催.....	3
2.5. 応募者.....	3
3. 審査結果.....	4
3.1. 基礎審査.....	4
3.1.1. 資格審査.....	4
3.1.2. 価格審査.....	4
3.1.3. 要求水準への適合審査.....	4
3.2. 総合審査.....	4
3.2.1. 提案内容の評価.....	4
3.2.2. 提案価格の評価.....	5
3.3. 総合審査.....	6
4. 総評.....	7
4.1. 提案内容に関する講評.....	7
4.2. 総評.....	9

## 1. 選定委員会

---

### 1.1. 選定委員会設置目的

平泉町（以下、「町」という。）における社会教育施設は、人づくり、まちづくりにとって非常に重要な施設であることから、平成 29 年 3 月に「社会教育施設の整備方針」を、平成 30 年 3 月に「平泉町社会教育施設基本構想・基本計画」を公表したところである。

方針において示した優先順位上位である公民館・図書館を併設した社会教育施設を整備・運営することにあたり、民間事業者の選定を適正に行うため、学識経験者等の外部委員及び町の職員から構成する平泉町社会教育施設整備事業者選定委員会（以下「選定委員会」という。）を設置した。

### 1.2. 審査体制

選定委員会の委員は、以下のとおりである。

表 1 選定委員会 委員名簿

委員	備考
平野 勝也	東北大学 災害科学国際研究所 情報管理・社会連携部門准教授
小野寺 郁夫	小野寺設計室
千葉 義信	社会教育委員 議長
齋藤 清壽	平泉町副町長
岩渕 実	平泉町教育長

## 2. 審査方法

---

### 2.1. 審査方法

応募者から提出された提案書に対し、資格要件、要求水準への適合、企業の財務状況、事業計画、施設計画、維持管理・運営計画及び資金計画に関する評価により審査を行った。

提案審査会は、「平泉町社会教育施設整備事業 審査基準書（以下「審査基準書」という。）」に基づいて提案内容の審査を行い、最優秀提案及び次点を選定した。

なお、審査は次の方法で行った。

- ・ 採点は審査会の合議とする。
- ・ 応募事業者については、実名審査とする。

## 2.2. 審査フロー

募集要項等の公表から優先交渉権者決定までの流れを下図に示す。

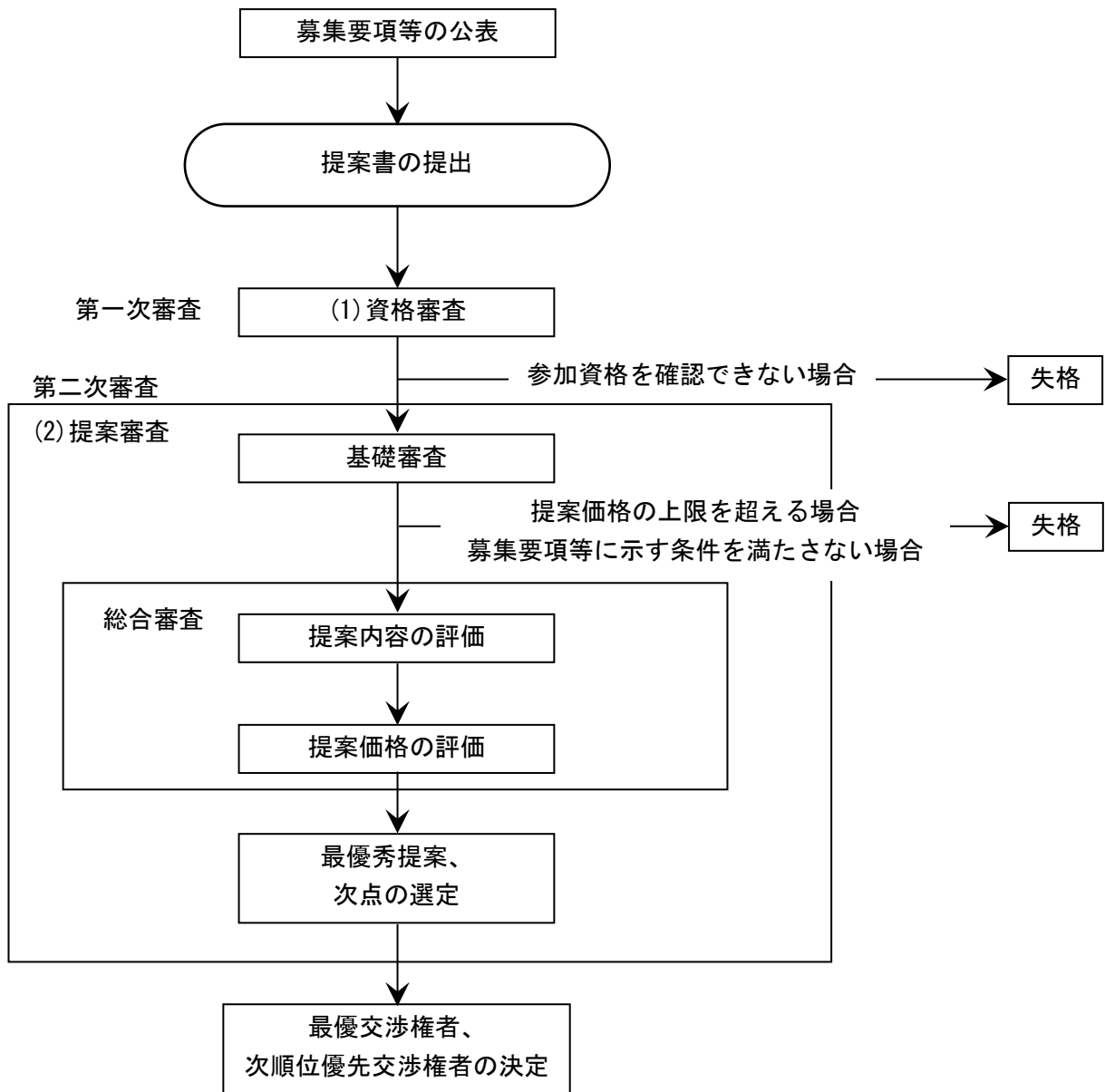


図 1 選定フロー

### 2.3. 募集の経緯

応募等の手続きは、以下のとおりである。

表 2 募集の経緯

項目	時期
実施方針の公表	平成 31 年 3 月 29 日 (金)
直接対話 (第 1 回)	平成 31 年 4 月 12 日 (金)
実施方針に関する質問の提出期限	平成 31 年 4 月 18 日 (木)
実施方針に関する質問の回答公表	平成 31 年 5 月 10 日 (金)
募集要項等の公表	令和 元年 6 月 28 日 (金)
直接対話 (第 2 回)	令和 元年 7 月 11 日 (木)
募集要項等に関する質問の提出期限	令和 元年 7 月 17 日 (水)
募集要項等に関する質問の回答公表	令和 元年 7 月 30 日 (火)
提案書の受付	令和 元年 9 月 27 日 (金)
応募事業者プレゼン	令和 元年 11 月 13 日 (水)
優先交渉権者の決定	令和 元年 11 月 15 日 (金)

### 2.4. 選定委員会の開催

選定委員会の開催日及び協議内容は、以下のとおりである。

表 3 選定委員会の開催日及び協議内容

	開催日	協議内容
第 1 回	令和元年 5 月 22 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 募集要項等について</li> <li>・ 事業者選定基準について</li> <li>・ その他</li> </ul>
第 2 回	令和元年 10 月 15 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 審査方法について</li> <li>・ 応募者の提案内容について</li> <li>・ 第 3 回提案審査会について</li> <li>・ その他</li> </ul>
第 3 回	令和元年 11 月 13 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本採点について</li> <li>・ 最優秀提案及び次点の選定について</li> <li>・ 審査講評について</li> <li>・ その他</li> </ul>

### 2.5. 応募者

令和元年 6 月 28 日に募集要項等を公表し、令和元年 9 月 27 日に企画提案書等を受け付けたところ、2 グループから応募があった。

各グループの代表企業及び構成員は、以下のとおりである。

表 4 応募者一覧

代表企業	株式会社平野組	グループ①
構成員	株式会社久慈設計	—
	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社	—

### 3. 審査結果

---

#### 3.1. 基礎審査

##### 3.1.1. 資格審査

各応募者が提出した応募資格に関する資料を審査し、募集要項に示した応募者の資格審査を満たしていることを確認した。

##### 3.1.2. 価格審査

各応募者が提出した価格に関する資料を審査し、整備及び管理運営に要する経費が提案上限額以下であることを確認した。

##### 3.1.3. 要求水準への適合審査

各応募者が提出した提案内容に関する資料を審査し、要求水準を満たすことを確認した。

#### 3.2. 総合審査

総合審査では、以下のとおり「提案内容の評価」と「提案価格の評価」の2つの面から評価を行った。

##### 3.2.1. 提案内容の評価

提案内容の評価は、審査基準書に示す「4.2. (4) 評価項目及び配点」に基づき、提案内容を専門的見地から評価し、点数化した。

採点結果及び各応募者の提案内容の得点は以下のとおりである。なお、点数化の際は、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位までを求めた。

表 5 提案内容の評価

評価項目	配点	(株)平野組 グループ	グループ①
1)事業計画に関する事項	10点	6.56点	8.00点
2)設計・建設に関する事項	32点	24.88点	21.20点
3)総括管理業務、維持管理業務、 運營業務に関する事項	28点	18.96点	20.36点
4)地域経済・社会への配慮・貢献	10点	7.44点	6.92点
提案内容の評価合計	80点	57.84点	56.48点

### 3.2.2. 提案価格の評価

提案価格の評価，点数化方法は以下のとおり行った。なお，点数化の際は，小数点第3位を四捨五入し，小数点第2位までを求めた。

表 6 提案価格の評価

審査項目（評価の視点）	配点	点数化方法
サービス対価A・B（円）	20点	最も低い提案評価額を満点とし、他の提案評価額については、次の式にて算定 点数＝（最低提案評価額÷提案評価額）×20

#### 1 整備及び管理運営に要する経費（サービス対価）（円）

	(株)平野組 グループ	グループ①
①サービス対価A（税抜）	1,014,500,000	976,400,000
②消費税（①に係る消費税等）	101,450,000	97,640,000
③サービス対価A 合計（税込） 【①+②】	1,115,950,000	1,074,040,000
④サービス対価B（税抜）	153,999,999	154,545,000
⑤消費税（④に係る消費税等）	15,399,999	15,454,500
⑥サービス対価B 合計（税込） 【④+⑤】	169,399,998	169,999,500
⑦サービス対価 合計 【③+⑥】	1,285,349,998	1,244,039,500

※様式 8-2 より

#### 2 提案価格の得点（満点 20 点）

	(株)平野組 グループ	グループ①
サービス対価 合計	1,285,349,998	1,244,039,500
配 点	<b>19.36</b>	<b>20.00</b>
備 考		最小提案価格

### 3.3. 総合審査

「提案内容の評価」及び「提案価格の評価」を踏まえ、総合審査を行った。結果は、以下に示すとおりである。

表 7 総合審査結果

総合審査点数	配点	(株)平野組 グループ	グループ①
提案内容の評価	80点	57.84 点	56.48 点
提案価格の評価	20点	19.36 点	20.00 点
<b>総合審査</b>	<b>100点</b>	<b>77.20 点</b>	<b>76.48 点</b>

以上の結果、

- 株式会社平野組グループの提案を「最優秀提案」  
グループ①の提案を「次点」とした。



## 4. 総評

### 4.1. 提案内容に関する講評

各応募者の提案内容に関する講評は、以下に示すとおりである。

#### 1) 事業計画に関する事項

評価・指摘事項
<p>&lt;株式会社平野組グループ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 書籍の購入や法定点検等の維持管理などを町内の企業と協働し、「地元ファースト」をキーワードに運営する点が評価できた。</li><li>• 世代の異なる利用者も本施設が提供するあらゆる機能を一体的に且つ融合できる施設&lt;ひろげる=ハブ&gt;の運営を実現する提案に対して、他事例で実績があったことが評価できた。</li></ul> <p>&lt;グループ①&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 代表企業が、設計・建設期間の町・特定事業者間の窓口を担うほか、維持管理・運営期間には事業全体を俯瞰し、業務間のシームレスな連携や各担当企業の業務水準の維持・向上を推進する計画としている点が評価できた。</li><li>• 目指す将来像や将来像の実現に向けた3つの基本方針を明確に打ち出し、町民協働型ワークショップなどの取組を提案している点が評価できた。</li></ul>

#### 2) 設計・建設に関する事項

評価・指摘事項
<p>&lt;株式会社平野組グループ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• にぎわい交流拠点として、吹き抜けを介し一目で全空間の構成が見て取れるデザインとなっている点が評価できた。</li><li>• 敷地東側に建物を配置し、敷地西側の駐車場及び東側の奥州街道側の両面に正面性を持たせ、将来的に隣接する保健センター駐車場と一体的に駐車場を利用する点が評価できた。</li></ul> <p>&lt;グループ①&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 建物西側出入口に面して広場空間を設け、利用者を受けとめる屋外交流空間の提案は評価できた。</li><li>• エントランスホールを中心とした動線計画とし、エントランス（総合カウンター）から各機能（施設）へ繋ぐ施設構成の提案があったが、交流を促進する空間としての視点では、さらなる工夫が必要であると感じる提案であった。</li></ul>

### 3) 総括管理業務、維持管理業務、運營業務に関する事項

評価・指摘事項
<p>&lt;株式会社平野組グループ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 開館までのスケジュール等、町と十分に協議しながら業務を進める提案に具体性に欠けていた。</li><li>・ 町民の協力を得て「地（知）域情報提供者登録カード（仮）」を作成し、児童向けの平泉の歴史、文化に関する講演会などの講師として利用者の知恵を借りながら「町民が創る町民のための公共施設」として講座やイベントを開催するなど、「平泉学」の発展に寄与する提案があった点が評価できた。</li></ul> <p>&lt;グループ①&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 開館までの準備業務や提出書類の作成期限など、開館準備期間のスケジュールが明確に提案されている点が評価できた。</li><li>・ 運営企業によるノウハウの活用や地域内で培ってきたネットワークを活用する提案であったが、具体の成功例が適切に説明されなかった。</li><li>・ 各機能相互に関連性のある事業の推進のため、事業の企画立案・実施の専任担当者を1名配置する提案があった点が評価できた。</li></ul>

### 4) 地域経済・社会への配慮・貢献

評価・指摘事項
<p>&lt;株式会社平野組グループ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 平泉町の特徴を踏まえ、平泉町が保有する資料や平泉に関する資料を収集し、後世に伝え、残していくために「平泉歴史資料製作委員会（仮）」を発足する提案があった点が評価できた。</li><li>・ 町内のカフェや店舗へ本をパック貸出しすることで「街中図書館構想」の実現を図る提案があった点が評価できた。</li></ul> <p>&lt;グループ①&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 地元雇用について、町内在住者6名以上を目標としている点が評価できた。</li><li>・ 開館前にサポーターズクラブの立ち上げや館全体で統一テーマを設定して事業等を実施する提案があったことが評価できた。</li></ul>

## 4.2. 総評

選定委員会は、先に公表した選定基準に基づき厳正かつ公正な審査を行い、株式会社平野組グループを最優秀提案者として選定した。

本事業については、募集要項等の公表から企画提案書の受付までの期間、直接対話の実施、質問回答の実施を含め、提案スケジュールが厳しい中、2グループから応募をいただいたが、いずれも、本事業の目的を十分に理解した提案であり、限られた時間の中で、研究と努力を重ねた誠意が十分伝わってくる内容であった。

最優秀提案として選定した株式会社平野組グループの提案は、本事業の事業目的を踏まえ、また本町の課題を理解し、にぎわい交流拠点としての空間構成・デザインとしている点が高く評価できた。

社会教育施設の運営については、総括責任者を可能な限り統括業務と外部とのコミュニケーション作りに専念できる体制としており、町がめざす町全体へのにぎわい創出などが期待できる提案であった。

また、地域経済・社会への配慮・貢献として、地元雇用の促進策や、世界遺産を有する平泉町の特徴を踏まえた提案を行った点も評価できた。

今後、最優秀提案者に選定された「株式会社平野組グループ」は、提案内容及び事業スケジュールに基づく確実な事業の実施により、本事業のコンセプトである「町の活力を生み、育てる“にぎわい交流拠点”の整備」の実現に注力していただきたい。

さらに、本選定委員会における審査講評を踏まえ、具体的な指摘事項に対しては、町との協議によって、提案内容を修正、詳細化し、優れた提案をさらにより良いものにしていただくことを強く期待する。

最後に、選定委員会としては、提案書作成にあたっての熱意、努力に対し高く評価しており、各応募グループの構成企業の皆様に重ねて感謝申し上げる次第である。

とりわけ、「株式会社平野組グループ」においては、各業務における豊富な実績の活用及び地元企業との連携により、町内外から多くの人が集まるにぎわい交流拠点の整備・運営に対して、町の良きパートナーとして御協力頂くことを心より願います。

## ＜選定委員会の付帯事項＞

### 1. 主催事業の企画立案及び収支計画について

町の方針に基づき特定事業者が実施する主催事業及び自主事業について、より具体的な内容を練り上げ、周辺エリアを含めた実効性ある活動に取り組んでいただきたい。

### 2. 開館準備期間のスケジュールについて

開館までの準備業務や提出書類の作成期限などのスケジュールを早期に作成し、スムーズなオープンに向け、町と協議の上、積極的に対応していただきたい。

### 3. 各種マニュアルの作成について

維持管理・運営業務における、各種マニュアルを作成し、町民が使いやすい施設となるよう意識し、運営を行っていただきたい。

### 4. 構造体について

2階からの振動・騒音等に十分配慮した構造体や対策について、検討していただきたい。

### 5. 管理区分について

諸室の用途や配置、施設全体のセキュリティを考慮し、主要な出入口は施錠できるものとするなど、管理区分を明確にした外部空間・内部空間の形成を検討いただきたい。また、設計の際には町と協議の上、管理区分を含め、より質が高く使いやすい設計となるよう柔軟に対応していただきたい。